



2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 日本ホスピスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7061 URL <https://www.jhospice.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 加藤 晋一郎 TEL 03-6368-4154
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	3,509	24.4	306	60.5	251	105.3	140	111.3
2021年12月期第2四半期	2,820	23.4	190	89.7	122	302.9	66	966.8

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 148百万円 (123.9%) 2021年12月期第2四半期 66百万円 (966.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	17.50	17.36
2021年12月期第2四半期	8.36	8.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	10,822	1,694	15.5
2021年12月期	9,147	1,535	16.7

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 1,676百万円 2021年12月期 1,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2022年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2022年12月期（予想）	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	32.9	950	58.8	760	82.0	450	86.9	56.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、現在のところ軽微であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、新規ホスピス住宅の開設スケジュールの変更や新型コロナウイルス感染防止への対策費用が増大する可能性がありますので、今後の推移状況を注視してまいります。また、業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）ノーザリーライフケア株式会社、除外 1社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	8,018,000株	2021年12月期	7,995,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	258株	2021年12月期	258株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	8,010,371株	2021年12月期2Q	7,932,484株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料（P3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

① 市場環境

当社グループの事業に関わる医療・看護・介護の環境につきましては、高齢者の増加と共に市場が拡大し需要が増加する一方で、社会保障費の抑制を目的として、病院を中心とした施設から在宅を中心とした医療へのシフトが進み、医療と介護の連携や地域単位でのケア体制の整備等が促進されると予想しております。

② 2022年4月～6月におけるホスピス施設の状況

このような状況の中、当社グループは「すべては笑顔のために」というコーポレートスローガンを掲げ、在宅での看取りを前提とした、在宅ホスピス事業を推進してまいりました。当第2四半期においては、2022年4月に「ナーシングホームOASIS天白野並（名古屋市天白区）」及び「ファミリー・ホスピス代田橋ハウス（東京都杉並区）」を開設いたしました。また、2022年4月にノーザリーライフケア株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、当社グループの北海道第1号施設となるノーザリーライフケア厚別西（札幌市厚別区）が加わりました。これにより、2022年6月30日現在において、当社グループは28施設833室のホスピス施設を運営しております。

③ 前年同期比較

当第2四半期連結累計期間においては、前年第4四半期に開設した「ファミリー・ホスピス成城ハウス（東京都世田谷区）」「ファミリー・ホスピス本牧ハウス（横浜市中区）」「ファミリー・ホスピス荒川ハウス（東京都荒川区）」が黒字化に至るまでの赤字期間、また、当期に開設した「ファミリー・ホスピス二俣川ハウス（横浜市旭区）」「ファミリー・ホスピス平野ハウス（大阪市平野区）」「ナーシングホームOASIS天白野並（名古屋市天白区）」「ファミリー・ホスピス代田橋ハウス（東京都杉並区）」の開設準備コスト及び黒字化に至るまでの赤字期間、並びに当第3四半期に開設を予定している2施設の開設準備コスト負担があったものの、前年同期には立上げ途中にあった施設が安定稼働期に入ったこと等により、前年同期に比べ、増収増益となりました。

④ 当社の施設損益

当社グループの運営する施設は、開設に先立って看護師等の従業員を採用することでホスピスチームを作り、ホスピスチームが確立した事を確認して施設を開設し、開設した後に順次入居者を受け入れる形で運営を行っていることから、一定の稼働率に至るまでは売上に対して人件費等の費用が先行して発生することになります。また、施設開設後、約半年から1年をかけて当社グループが満室の目安とする85%の稼働率に至る計画で展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,509,490千円（前年同期比24.4%増）となりました。利益に関しては、営業利益が306,065千円（前年同期比60.5%増）となり、助成金収入等の営業外収益79,923千円、支払利息等の営業外費用134,397千円を計上した結果、経常利益は251,590千円（前年同期比105.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は140,261千円（前年同期比111.3%増）となりました。

当社グループは、在宅ホスピス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産10,822,380千円となり、前連結会計年度末に比べて1,675,239千円増加しました。これは主に、建物及び構築物が38,002千円、リース資産が1,420,283千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は9,128,173千円となり、前連結会計年度末に比べて1,516,868千円増加しました。これは主に、長期借入金が計247,583千円、リース債務が計1,320,244千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,694,207千円となり、前連結会計年度末に比べて158,371千円増加しました。これは主に、利益剰余金が137,769千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は15.5%となり、前連結会計年度末の16.7%に比べて1.2ポイント減少しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、2022年2月10日に公表した「2021年12月期 決算短信」に記載した2022年12月期の連結業績予想から変更はございません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、現在のところ軽微であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、新規ホスピス住宅の開設スケジュールの変更や新型コロナウイルス感染防止への対策費用が増大する可能性がありますので、今後の推移状況を注視してまいります。また、業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,077	1,625,284
売掛金	961,724	1,142,421
その他	84,528	128,525
流動資産合計	2,081,329	2,896,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,492,235	1,530,238
機械装置及び運搬具	10,421	30,498
工具、器具及び備品	92,765	103,118
土地	408,630	249,781
リース資産	4,016,932	5,437,215
建設仮勘定	600,300	262,628
減価償却累計額	△551,842	△828,814
有形固定資産合計	6,069,443	6,784,666
無形固定資産		
のれん	454,055	507,155
その他	7,595	13,659
無形固定資産合計	461,651	520,814
投資その他の資産		
繰延税金資産	56,519	62,299
その他	478,198	558,369
投資その他の資産合計	534,717	620,668
固定資産合計	7,065,811	7,926,149
資産合計	9,147,141	10,822,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	450,200	240,000
1年内返済予定の長期借入金	671,287	798,338
リース債務	70,230	113,736
未払金	52,553	55,098
未払費用	380,149	393,155
預り金	148,681	182,396
未払法人税等	139,359	87,435
賞与引当金	30,700	14,700
その他	28,807	108,964
流動負債合計	1,971,968	1,993,825
固定負債		
長期借入金	1,636,709	1,757,241
リース債務	3,844,664	5,121,401
資産除去債務	51,745	51,926
その他	106,219	203,778
固定負債合計	5,639,337	7,134,348
負債合計	7,611,305	9,128,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	361,930	367,680
資本剰余金	719,736	725,486
利益剰余金	445,884	583,653
自己株式	△550	△550
株主資本合計	1,527,000	1,676,270
新株予約権	8,835	7,410
非支配株主持分	—	10,526
純資産合計	1,535,836	1,694,207
負債純資産合計	9,147,141	10,822,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,820,393	3,509,490
売上原価	2,353,626	2,890,351
売上総利益	466,766	619,139
販売費及び一般管理費		
役員報酬	25,665	27,285
給料及び手当	74,557	63,960
賞与引当金繰入額	3,520	3,997
法定福利費	13,174	11,688
租税公課	63,219	83,179
のれん償却額	27,936	29,309
その他	67,983	93,653
販売費及び一般管理費合計	276,056	313,073
営業利益	190,710	306,065
営業外収益		
受取利息	5	5
助成金収入	32,351	79,811
その他	662	106
営業外収益合計	33,018	79,923
営業外費用		
支払利息	98,462	134,370
その他	2,736	27
営業外費用合計	101,199	134,397
経常利益	122,530	251,590
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,425
特別利益合計	—	1,425
税金等調整前四半期純利益	122,530	253,015
法人税、住民税及び事業税	86,280	87,864
法人税等調整額	△30,115	16,545
法人税等合計	56,165	104,409
四半期純利益	66,364	148,606
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	8,344
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,364	140,261

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）
四半期純利益	66,364	148,606
四半期包括利益	66,364	148,606
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,364	140,261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	8,344

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	122,530	253,015
減価償却費	76,199	127,997
のれん償却額	27,936	29,309
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,485	△46,000
受取利息	△5	△5
支払利息	98,462	134,370
売上債権の増減額 (△は増加)	△100,796	△116,213
未払金の増減額 (△は減少)	△7,728	△415
未払費用の増減額 (△は減少)	△15,428	△47,590
預り金の増減額 (△は減少)	1,186	47,462
その他	22,725	194,335
小計	209,595	576,267
利息の受取額	5	5
利息の支払額	△92,842	△120,450
法人税等の支払額	△49,147	△160,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,610	295,762
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△857,178	△281,329
有形固定資産の売却による収入	—	699,454
無形固定資産の取得による支出	△1,670	△6,760
差入保証金の差入による支出	△57,617	△65,076
差入保証金の回収による収入	105	5,048
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△20,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△916,361	331,141
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	372,000	710,000
短期借入金の返済による支出	△40,000	△920,200
長期借入れによる収入	400,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△103,080	△291,474
リース債務の返済による支出	△28,246	△46,522
新株予約権の行使による株式の発行による収入	12,000	11,500
自己株式の取得による支出	△71	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	612,601	△36,696
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△236,148	590,207
現金及び現金同等物の期首残高	959,456	1,035,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	723,307	1,625,284

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当第2四半期連結会計期間において、2022年4月1日付でノーザリーライフケア株式会社の株式70%を取得し、連結子会社化いたしました。なお、報告セグメントは在宅ホスピス事業に含めております。

この結果、2022年6月30日時点では、当社及び連結子会社2社により構成されております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（収益認識関連）

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであり、在宅ホスピス事業の収益は、「医療保険報酬」「介護保険報酬」「障がい者総合支援法に基づく報酬」「家賃等の自費サービス」等の多層構造になっておりますが、その大半は医療保険及び介護保険等の保険報酬並びに障がい者総合支援法に基づく報酬となっております。

このため、顧客との契約から生じる収益は、収益及びキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす要因がないことから、主要な要因に基づく区分で分解した情報は記載しておりません。